

株式会社 BUNJI GATE

BUNJI GATE は、宇宙港の企画・開発・運営や PR・イベントを通じて、スペースポートを核に高知県の未来を創る活動をしています。2029年の打ち上げを目指し、『一人一人が夢を描ける県』を目標に地域産業と宇宙産業のシナジーを生み出していきます。

事業内容

- 宇宙港の企画・開発・運営
- 宇宙港の貸し出し
- 宇宙輸送機および宇宙機の運用支援
- 宇宙港を活用した実証実験の支援
- 宇宙港に関連する PR、イベント企画・運営など



SpacePort KOCHI(仮) イメージ 初期小型ロケット打ち上げ

メンバー紹介



現 Rocket Lab, RF Development Team Lead

小松 聖児

三菱電機、ispace、Rocket Labにて宇宙機通信システム設計開発に従事。これまで静止軌道通信衛星、月面着陸機、低軌道衛星、火星探査機、コンステレーション衛星など10年間25機を超える宇宙機を開発。高校卒業後、米国ユタ大学にて物理学学士号取得、大阪大学大学院宇宙地球科学専攻にて修士号取得、X線天文衛星搭載X線 CCDカメラの開発。高知県出身

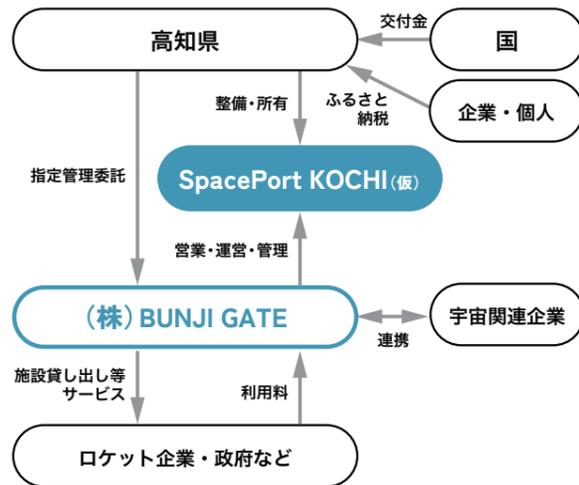


現 高知サンライズホテル 営業本部長

古谷 文平

豊田通商にて10年間アフリカビジネス、経営企画業務を担当(うち3年間アフリカ駐在)。高知に戻り家業のホテル経営、新規事業開発(シェアオフィス)。高校卒業後、上智大学、東京大学大学院にてアフリカの政治経済を研究。高知県出身

宇宙港事業のスキーム案



事業成長のタイムライン



SpacePort KOCHI Project

人類を新たな文化と豊かさの時代へと繋ぐ
 —アジア最大の宇宙玄関口を高知に—
 “スペースポート高知(仮)”プロジェクト

1

スペースポートって何？

スペースポートは人工衛星や人を宇宙に運ぶためのロケットや宇宙船が出発・帰還する場所です。人類の次の活動の場である宇宙へ行くための「玄関口」ともいえる場所で、さまざまな宇宙ビジネスや未来の宇宙旅行の出発点となります。

2

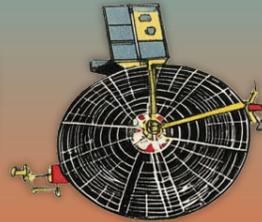
どうして宇宙にヒトやモノを運ぶの？

あなたの暮らしの「安全・便利さ」をもたらすあなたの生活をより豊かにするために宇宙空間の利用は欠かせないものとなっています。宇宙から得られる地球の画像、GPS の位置情報、また世界を結ぶ通信は天気予報や災害対策に役立っています。

人工衛星を使うと、宇宙から海の温度を調べることができます。鯉は生息に適した水温があるため、海の温度がわかれば、鯉が多い場所を見つけやすくなります。これにより、漁師は無駄なく効率的に漁を行い、燃料や時間を節約しながら、より多くの鯉を取ることができる。そんな未来も夢ではありません。

例えば鯉漁の場合

人口衛星を打ち上げるメリット



世界の宇宙産業の市場規模予測



出典：2020年7月 Morgan Stanley <https://www.morganstanley.com/ideas/investing-in-space> 経済産業省「国内外の宇宙産業の動向を踏まえた経済産業省の取組と今後について」より1ドル145円で計算 https://www.meti.go.jp/shingikai/sankoshin/seizo_sangyo/space_industry/pdf/001_05_00.pdf

成長し続ける宇宙産業

2040年には宇宙産業の市場規模は150兆円に成長すると予測されています。近年技術の成熟により高頻度打上げロケット、数千を超える人工衛星を同時運用するコンステレーション衛星、月や火星探査機が民間企業でも開発されています。また100人の乗客を運ぶ宇宙船も開発されています。ただし、日本は高頻度打上げロケットにおいて世界から遅れておりスペースポートの整備が鍵となっています。

需要があるのに足りていない 国内のスペースポート事情

衛星打ち上げ需要は通信・地球観測コンステレーション衛星を中心に右肩上がり。日本はロケットの技術を保有し、国内衛星打ち上げ需要も確実に増加傾向ですが、その需要を国内で取り込めていません。日本の宇宙産業を強化するためには、より多くのスペースポートを早急に整備することが求められています。

3

製造および打ち上げ予定の衛星数の推移予測



出典：「Satellites to be built & launched by 2030」(2021) Euroconsult 経済産業省「国内外の宇宙産業の動向を踏まえた経済産業省の取組と今後について」より https://www.meti.go.jp/shingikai/sankoshin/seizo_sangyo/space_industry/pdf/001_05_00.pdf

to be continued with you...

スペースポート高知(仮)は2029年打ち上げを目指しています

実現に向け、スペースポート高知研究会(仮)を立ち上げます。土木・建設・宇宙・エンターテインメントなど様々な業界からの研究会への加盟と活動費のご支援をお願いします！

BUNJI GATE

Road to the Space Port

人類を新たな文化と豊かさの時代へと繋ぐ

—アジア最大の宇宙玄関口を高知に—

スペースポートは高知県の未来に多くのメリットをもたらします

スペースポートに最適な国内有数のロケーション

土佐湾沖

早急な整備が求められるスペースポート。実は国内でも有数の最適ロケーションが「土佐湾沖」なのです！

6

高知の未来を創る

高知県は今、人口減少や少子高齢化といった課題に直面しています。しかし、私たちはそれを新たな挑戦のチャンスと捉えています。龍馬が生きた江戸時代に海の向こうに未知の世界を想像し、夢を描いた土佐の人々のように、今こそ現代を生きる私たちが宇宙という新たなフロンティアを目指して共に夢に向かう時なのではないでしょうか。

先端産業の振興

教育次世代育成

高知のプレゼンス向上

県内消費投資の拡大



地理的な利点

高知は国内でも比較的赤道に近く、地球の自転を利用してロケットを燃費良く打上げられます。



洋上発射に最適な場所

高知は南側が広い太平洋に面しており、ロケットを海上から安全に打上げられるスペースと環境が整っているといえます。



充実した交通インフラ

高速道路や大型港、空港から20分以内でアクセスできます。四国内の国際線就航により東アジア諸国とのアクセスも抜群。



都市部から好アクセス

中核市である高知市の繁華街にも近いため、ロケット打上げ観光を推進すれば大きな経済波及効果を期待できます。



県民性の魅力

おきやく文化など訪れる人々をもてなす温かい県民性は世界中から人々を呼び込む大きな魅力に。

